

高齢者を対象とする授業科目の開放について

埼玉工業大学と埼玉県は、超高齢社会を迎えるにあたり、高齢者の積極的な社会参加と自己実現に一助とするため、高齢者等を対象とする授業科目の開放について、互いに協力して取り組むことを協定しました。

本学と県との連携により高齢者の積極的な社会参加と自己実現の一助となるものと考えています。

埼玉工業大学

1 対象

県内在住で昭和28年4月1日以前生まれの人

2 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
環境安全論	前期	火曜	4時限	14:45-16:15	若干名
光電子工学	前期	水曜	2時限	10:45-12:15	若干名
ヒューマン・ロボット学入門	前期	水曜	1時限	9:15-10:40	若干名
思想と宗教(論語を読む)	前期	水曜	1時限	9:15-10:40	若干名
教育制度論	前期	木曜	3時限	13:10-14:40	若干名
文化論(環境問題について)	前期	水曜	1時限	9:15-10:40	若干名
人間理解 (日本人と仏教)	前期	火曜	1時限	9:15-10:40	若干名
科学技術理解 (宇宙の科学)	前期	金曜	4時限	14:45-16:15	若干名
テクノロジーと音楽	前期	水曜	2時限	10:45-12:15	若干名
人間理解 (心理学入門)	前期	月曜	5時限	16:20-17:50	若干名
機械工学科 実験実習を除く,全科目	機械工学科シラバス参照(3月案内予定)				若干名

各科目とも授業は14回の予定です。

授業は4月10日(木)から開始しますが、一部変則な取扱いがあります。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

スクールバスの案内(岡部駅、寄居駅等から利用可)

自家用車による通学可

時刻表等の詳細はホームページ参照 (<http://www.sit.ac.jp/access/index.html>)



関越道利用の場合

関越道花園インター(熊谷・深谷方面)出口から国道140号線バイパスを直進し(3.7km約・6分)大きな交差点(大学の看板あり)を左折します。道なりに直進(5.0km・約7分)。5つ目の交差点(大学の看板あり)を右折し直進(2.0km・約2分)してください。およそ大学まで17分程度で到着します。

3 受講料等

(1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

4 各授業科目の概要及び担当教官

科目名	担当教官	概要
環境安全論	酒井 勝弘	人類が気付くのに100年以上遅すぎた気候変動問題に、今人類の団結が試されている。石油はあと40年、資源制約は現世代の課題。環境制約、資源制約に関連してエネルギー問題は世界的課題。エネルギー生産手段の選択について、数十年の間に我々は真剣に考え答えを出さなければならない。この背景を踏まえ環境制約、資源制約、エネルギー制約の3つの観点から講義を進める。その過程で環境社会検定試験の受験対策・受験体験も実施する。
光電子工学	荒木 慶和	電子機器、システム間の情報伝達に光が媒体として利用され、情報ネットワークには、光ファイバー等の光エレクトロニクス技術が利用されています。本講義では、主に情報工学の分野に必要な内容を配慮し、光の基本的性質、光電変換(受光素子・発光素子)、光デバイス(レーザー・光ファイバー・光ディスク・ディスプレイ)、光センサー、照明技術、光情報技術(通信・ネットワークの基礎・光通信技術)について概説します。
ヒューマン・ロボット学入門	川副 嘉彦	ロボット研究開発の歩み、ロボット産業はなぜ期待通りに伸びないのか、ロボットは子供が学習するように学べるか、情報化社会とロボットの壁、ロボットはどれだけ環境を認識できるか、器用な作業はロボットにとってなぜ難しいか、ロボット学は科学？工学？、ホンダが成功した二足歩行のメカニズムと残された課題、知能ロボット研究の歴史と動向、ヒューマノイドの応用とは、ペットロボットの効用と限界、ヒューマン・ロボット学とは。
思想と宗教 (論語を読む)	岡本 光生	古代の中国にあって、政治に参画し、故あって野に退き、弟子たちと諸国を放浪し、そして老いていった孔子の生のありようを、弟子との対話記録である「論語」を手がかりにみていきたい。学び続けることによって運命に挑戦し、また受容していったかれの生のありようは現代に生きるわたしたちにとっても無関係ではない。テキスト「論語」の知恵でキリッと生きる」岡本光生 中経の文庫中経出版552円+税
教育制度論	渡部 宗助	教員志望学生のための「教職に関する科目」(必修)として開講しているものです。 日本の現行「教育制度」については欠かすことは出来ませんが、より広くとらえて講義します。 法制としての「制度」とそれを生む思想・理念さらには慣行も視野に入れ、教育制度を「学校制度」に限定せずに、歴史的な文脈では前近代～近代～現代も対象に、国際的契機・影響関係も含め、基本的には「学校制度」の相対化、「学校(大学含む)とは何か」を問うスタンスです。
文化論 (環境問題について)	中村 孚信	地球環境問題を地球環境全体という視点から考えていきます。地球温暖化問題は人類の排出するCO2に原因があると言われ、その抑制に世界は国をあげての取り組みを迫られています。しかしCO2原因説に疑問を持つと、温暖化問題はすぐれて政治経済の問題として把握されます。温暖化の原因にどのようなものがあるか、なぜ政治経済の問題となるのか、真の原因はどこにあるのか、どういう対処が考えられるか、などを講義します。
人間理解 (日本人と仏教)	宮井 里佳	日本人の思想や文化には仏教が多大な影響を与えている。仏教は元々インドに生じ、西域や中国などを経て日本に伝来し受容される中で大きく変化した。本講義では、「(本当の)私は存在するか？」という問い(テーマ)に焦点を当てて、インドから日本の仏教思想を概観する。インド以来の仏教思想の変化・発展を論じることによって、日本の仏教の特徴を明らかにするとともに、思想史的なものの視方を伝えたい。
科学技術理解 (宇宙の科学)	高橋 広治	宇宙の構造と進化を科学的に理解することを目標として、宇宙科学諸分野における重要事項を系統的に解説する。具体的には、太陽系から出発して、恒星の世界、銀河の世界、そして宇宙全体の歴史と進化へと話を進める。主として文科系の学生を対象とする。

テクノロジーと音楽	中川 善裕	テクノロジーの進歩は音楽に様々な影響を与えてきた。では音楽家達はテクノロジーの進歩にどのような可能性を見出したのだろうか。また実際にテクノロジーは音楽にどのような変化をもたらしたのか。ここでは20世紀以降の電子音楽、具体音楽、テープ音楽、コンピュータ音楽など、新たな電子技術によって発明された楽器、音楽制作方法等の歴史を紐解きながら、それらの疑問について考察してゆく。
人間理解 (心理学入門)	池上 司郎	心理学を初めて学ぶ学生を対象にして、心理学の色々な分野から重要で基本となるトピックスを取り上げて分かりやすく解説する。心理学の研究手法の多様性と人間の心理について理解を深めることを目的としている。授業内容は「心と意識の研究」、「脳の働きの仕組み」、「心の発達と老化」、「記憶」、「知覚」、「考える」、「喜怒哀楽」、「心の病」、「男性と女性の心理」、「性格」、「社会行動」などのテーマについて解説する。
機械工学科 実験実習を除く、全科目		機械工学科シラバス参照(3月案内予定)

5 受講の申込み

(1) 申込期限 平成20年3月21日(金)

(2) 申込先

〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺1690

埼玉工業大学 教務課

電話:048 - 585 - 6813

FAX:048 - 585 - 5939

(3) 申込方法

往復ハガキ又はFAXにて、以下の事項をみれなく記入の上、郵送又はFAXにてお申込み

住所

氏名(フリガナ)

年齢(平成20年4月1日付)

電話番号

受講希望科目(何科目でも可)

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。